

新成長戦略

2010年6月18日 閣議決定

2011年度以降の戦略構想の根幹

- 第1章 新成長戦略 — 「強い経済」「強い財政」「強い社会保障」の実現 —
- 第2章 新たな成長戦略の基本方針
- 第3章 7つの戦略分野の基本方針と目標とする成果
- 第4章 新しい成長と政策実現の確保

要 点

第1章 新成長戦略

第一の道 公共事業中心

第二の道 行き過ぎた市場原理主義

第三の道 「強い経済」「強い財政」「強い社会保障」

「問題解決型」の国家戦略

「グリーン・イノベーション」、「ライフ・イノベーション」、「アジア経済」、「観光・地域」を成長分野

これらを支える基盤として「科学・技術・情報通信」、「雇用・人材」、「金融」に関する戦略を実施する。これらを支える基盤として「科学・技術・情報通信」、「雇用・人材」、「金融」に関する戦略を実施する。

要 点

第3章 7つの戦略分野の基本方針と目標とする成果
我が国の「新成長戦略」を、

- ・ 強みを活かす成長分野（**環境**・エネルギー、**健康**）、
- ・ フロンティアの開拓による成長分野（アジア、**観光**・地域活性化）、
- ・ 成長を支えるプラットフォーム（科学・技術・情報通信、雇用・人材、金融）とする。

強みを活かす成長分野

- （1）グリーン・イノベーションによる**環境・エネルギー**大国戦略
- （2）ライフ・イノベーションによる**健康**大国戦略

第4期科学技術基本計画骨子（素案）

I. 基本計画について

II. 我が国の基礎体力強化

III. 成長を牽引する課題解決型イノベーション

IV. 日本の強みを活かすイノベーションの推進

V. 科学・技術・イノベーション促進のためのシステム改革

I. 基本計画について

(1) 次期基本計画の位置付け

- **グリーン・イノベーション**及び**ライフ・イノベーション**の2つのイノベーションを推進する。
- 「成長を支えるプラットフォーム」として「**科学・技術立国戦略**」を位置付けている。

Ⅲ. 成長を牽引する課題解決型

イノベーション

- **グリーン・イノベーションで環境・エネルギー大国を目指す★**
 - **地球温暖化問題の解決**に向けた温室効果ガス削減目標の達成、自然への負荷の緩和、自然の保全・再生、環境への適応など、自然との共生と人類の発展・**経済の成長**との両立を可能とする**グリーン・イノベーション**を推進し、**世界一の環境・エネルギー大国**となる。
 - **出口を見据えた研究開発を前倒して推進**するとともに、研究開発成果の実用化・普及を迅速に図るための**実証事業、標準化、制度改革**を推進する。
- **ライフ・イノベーションで健康大国を目指す★**
 - **健康寿命の延伸、人口減の中での活力の維持**など、**少子高齢化**の中で豊かな社会を築く**ライフ・イノベーション**を推進し、**世界一の健康大国**となるとともに、**医療・介護・健康関連産業の発展**を通じて**成長**を達成する。

3. 科学技術基本計画

(3) 第4期科学技術基本計画策定に向けた検討

○ 本年6月頃の基本方針案のとりまとめを目指し、第5回基本政策専門調査会(2月23日)から第4期科学技術基本計画の骨子について議論を開始し、引き続き検討を進める。

第4期科学技術基本計画骨子(素案)～第5回基本政策専門調査会資料から抜粋～

基本計画について

成長を牽引する課題解決型イノベーション

- **グリーン・イノベーション**で
環境・エネルギー大国を目指す
- **ライフ・イノベーション**で
健康大国を目指す

日本の強みを活かすイノベーションの推進

- **革新的な基盤技術**
- **国家基幹・安全保障技術**

我が国の基礎体力強化

- **基礎研究**の抜本的強化
- 科学・技術を担う**人財**の強化
- 世界の活力と一体化する**国際展開**

科学・技術・イノベーション促進のためのシステム改革

- 研究開発システムの改革とPDCAサイクル
- **科学・技術コミュニケーション**と次世代**人財**の育成
- 研究開発投資の強化

4. 最先端研究開発支援プログラムについて

プログラム予算合計1,500億円

30課題 [1,000億円]

対象者

我が国の代表的研究者若しくはそれが期待される研究者

対象課題

3～5年間で世界をリードし、世界のトップを目指す先端的研究課題

経過

平成21年9月4日

565件の応募から、30課題を選定

平成22年3月9日

各課題の配分額などを決定

例 大阪大学 審良教授
京都大学 山中教授
島津製作所 田中フェロー

若手・女性研究者への支援[500億円]

対象者

将来、世界の科学・技術をリードすることが期待される、若手・女性・地域の研究者

対象課題

グリーン・イノベーション

ライフ・イノベーション

を推進する、人文・社会科学を含めた挑戦的な研究課題を幅広く対象(上限:4年間で2億円)

今後の予定

3月中に公募開始予定

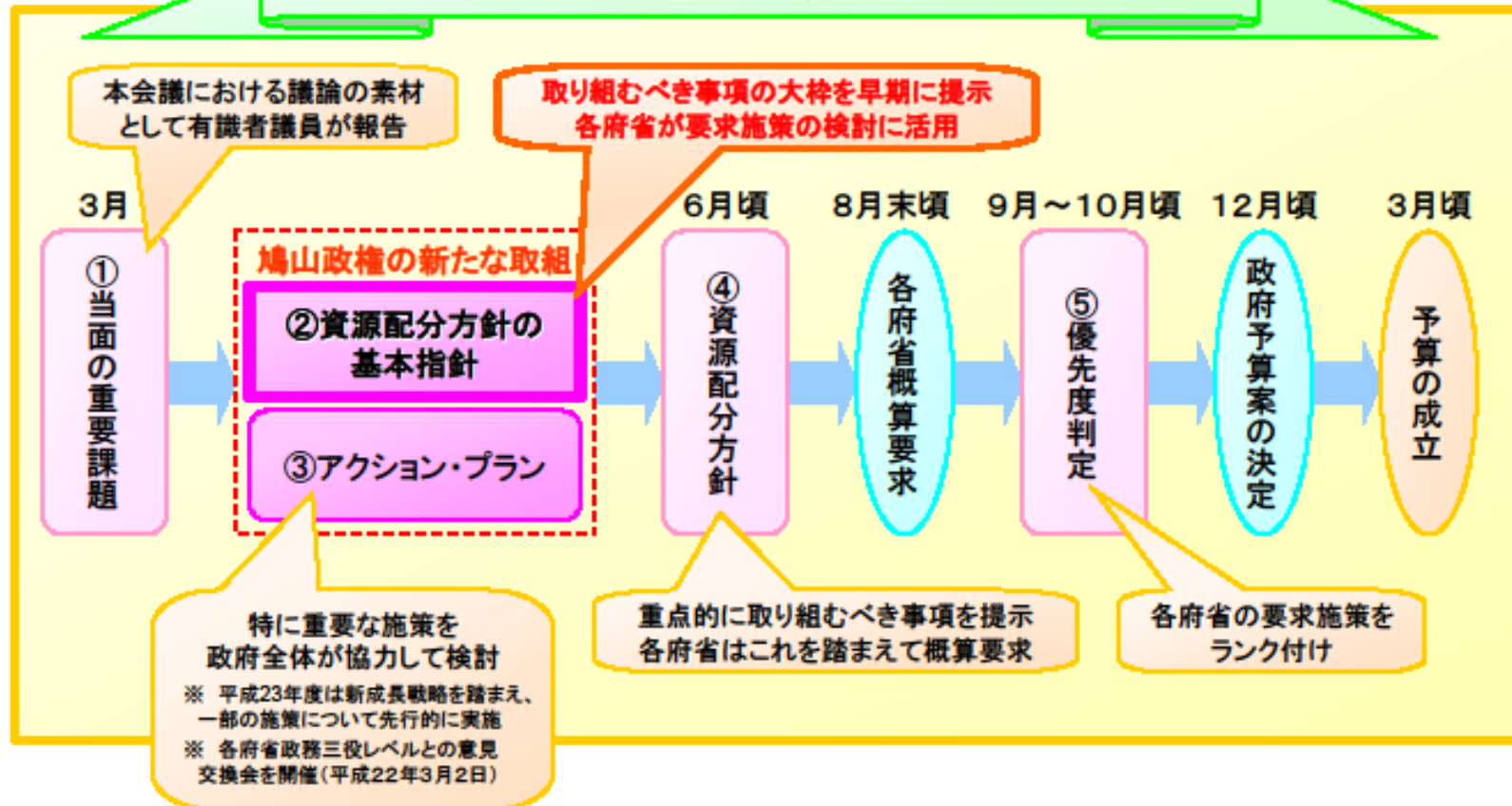
(その後、選定作業、総合科学技術会議で採択課題決定。)

資源配分方針の基本指針の位置付け

～科学・技術関係予算編成プロセスの改革に向けた新たな取組～

資料4-1

重点化・効率化・透明化・通年化を実現する 新しい科学・技術予算編成プロセス



● < 科研費の役割について >

科研費によって、大学等の研究機関における研究者の自由な発想に基づく研究が支援され、これらの研究の成果を基礎として、特定の政策目的に基づく基礎から応用に至る研究や研究成果を生かし具体的な製品開発に結びつける研究が、様々な競争的資金による支援を受けながら展開されている。このように、科研費は、基礎から応用、開発に至る様々な研究の基盤となっている。特に、基礎研究の振興に当たっては中心的な役割を担っている。

第3期科学技術基本計画のフォローアップ

- 基本理念、科学技術の戦略重点化、社会技術システム改革、社会・国民に支持される科学技術

特に強調されている事項（赤文字部）

- 世界主要先進国は、地球環境問題に地球環境問題に科学技術での対応を目指すクリーンテックを中核に据えた**イノベーション政策の強化**を前面に据え、国のトップのリーダーシップによって、予算の大幅な増額方針を打ち出している。
- 地球的課題の解決には、**出口を見据え、サービスを含めてトータルのシステム**を提供し、解決策を提供する技術こそが必要。
- イノベーションにおける国や研究開発法人及び大学の役割・責任を明確にし、従来の科学技術政策の狭い範囲に閉じこもらずに、関連施策も巻き込んでイノベーションを実現できるよう、**科学技術政策とイノベーション政策を一体的に実施**していくことが強く求められる。

第4期科学技術基本計画策定へ向けての議論

戦略・方針・重点課題

- 総合科学技術会議
- 文部科学省・学術審議会
- 学術会議 等の動向

- 各省庁のグリーン／バイオ・イノベーション研究計画
- 基礎科学力強化 等の重点課題